

## はじめに

女性が輝く社会ってなんなのさ!? 活躍ってなんなのさ!?

いままでこれでいいって言ったじゃない!

そんなふうを感じている人がいる一方、自分の力を発揮できるチャンスをつかんで世界を広げていつている人たちもたくさんいると思います。

自分自身の可能性に気づき、自分で歩みを進められている人たちはいいのですが、社会に発信されたこのメッセージにより、見たくなかった、見てはこなかった自分に初めて目を向けた人も多いはず。

見てしまったら気になつてしまう。人は受け入れがたいことや受け入れたくないことに気づかなければやり過ぎることができませんが、気づいてしまったら、猛烈に抵抗するか、反発する行動を起こし、今までが正しかったのだということを証明しようとしだします。

一方で、今までの社会（組織）で都合がよかった人たちにとっては、いきなり社会（組織）が変わっ

ていく、今まで同じような価値観や意見でうまくいっていたのに、そこに別の意見や価値観を持つているよそ者が入ってくることに、当然猛反発します。

ニコニコしながら猛烈に反対、そして抗議運動を起こし、その発信は間違っていることを証明しようと動きだします。

これらがすべて、水面下でひっそりと行われている。だからタチが悪いのです。一緒に手を取って社会（組織）を変えていきましょうと言いながら、それぞれが、相手が間違っているということをひそかに証明しようとする動きをし始めるわけです。

いい大人が……ほんとに往生際が悪いとしか言いようがありません。

新しく便利になったものは使うけど、使う側は、その便利なものを使いこなせるようなアップデートはしない。古い機械でも使いこなせるようにバージョンを合わせるか、細かい取扱説明書を作つてね、みたいなことでしょうか……。

新しくする意味なし。

それぐらい変化をしていくということに、人は二の足を踏むということです。

この書籍では、少し肩の力を抜いて、自分のこれからを考えられるように、目からウロコになるような刺激的なメッセージも含めつつ（笑）、届けることができばと思っています。

会社を変えるために、社会を変えるために、ではなく、自分自身が今よりも生きやすく、そして、楽しく過ごしていくために、歩みを進めることなのだということはお忘れなく。

それでは、さっそくはじめてまいりましょう……。